

第16回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成4年11月11日（水）
 14:00～14:15
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) 平成4年度における宇宙開発委員会外国人招へいについて
4. 資 料 委16-1 第15回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
 委16-2 平成4年度における宇宙開発委員会外国人招へいについて

第 1 5 回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成 4 年 8 月 2 6 日（水）
午後 2 時～ 2 時半
2. 場所 宇宙開発委員会会議室
3. 議題 (1) 宇宙開発委員会委員長代理の指名について
(2) 前回議事要旨の確認について
(3) 平成 5 年度における宇宙開発関係経費の見積りについて
4. 資料 委 15-1 第⁴15 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 15-2 平成 5 年度における宇宙開発関係経費の見積について
（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長

“ 委員

“ “

“ “

“ “

谷 川 寛 三
野 村 民 也
内 田 勇 夫
曾 山 克 巳
田 島 敏 弘

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）

通商産業省機械情報産業局次長

運輸省運輸政策局次長

郵政大臣官房審議官（通信政策局担当）

建設大臣官房技術審議官

山 田 勝 兵（代理）
中 川 勝 弘 “
和 田 義 文 “
大井田 清 “
小野和 日 児 “

他

事務局

科学技術庁研究開発局長

科学技術庁研究開発局宇宙企画課長

石 井 敏 弘
大 熊 健 司

他

6. 議事

- (1) 宇宙開発委員長代理の指名について

谷川委員長より野村委員が委員長代理に指名された。

- (2) 前回議事要旨の確認について

第1₄⁵回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委15-1）が確認された。。

- (3) 平成5年度における宇宙開発関係経費の見積りについて

事務局より資料委15-2に基づき説明が行われた後、決定された。

委 16-2

平成4年度宇宙開発委員会外国人招へいについて

平成4年11月11日
宇宙開発委員会
決 定

平成4年度における宇宙開発委員会外国人招へいとして、下記の3名を平成4年11月15日より7日間招へいすることとする。(ただし、Mr. Changchui Heについては8日間の招へいとする)

(国名：アルファベット順)

国連E S C A P

Mr. Changchui He
Regional Adviser/Coordinator,
ESCAP Regional Remote Sensing Programme

インド

Prof. Bulusu Lakshmana Deekshatulu
Director, National Remote Sensing Agency

パキスタン

Mr. Sikandar Zaman
Chairman,
Pakistan Space & Atmosphere Research Commission (SUPARCO)

(参考1)

招へい目的

本年3月に我が国の国際宇宙年活動の一環として開催したプレ・アジア太平洋国際宇宙年会議では、アジア・太平洋諸国の参加の下、宇宙開発及びISY活動の推進のための有意義な意見交換を行った。本年11月には、プレ・アジア太平洋国際宇宙年会議を通じて高まったアジア・太平洋諸国との宇宙開発における協力の必要性について更に意見交換を行うためアジア・太平洋国際宇宙年会議を開催する予定である。

アジア・太平洋地域の宇宙機関の首脳を招へいし、各国の宇宙開発プログラム及びISY活動に関する意見交換の場を提供することは、今後の我が国が宇宙開発における国際協力を進めていく上で有意義である。このため本会議において開催されるシンポジウム「アジア太平洋の宇宙開発」(チェアマン: 内田宇宙開発委員)に出席する3名を招へいする必要がある。

(参考2)

招へい日程

平成4年

11月15日(日) 成田着 ホテルへ移動(都ホテル)

16日(月) アジア・太平洋国際宇宙年会議出席

17日(火) 同上

18日(水) 同上

19日(木) 同上

(シンポジウム・セッション3「アジア・太平洋の宇宙
開発」)

20日(金) アジア・太平洋国際宇宙年会議出席

21日(土) 成田発

(注: Mr. Changchui Heについては、22日成田発予定である。)

(参考3)

宇宙開発委員会外国人招へい者の概要

(国名：アルファベット順)

国連アジア太平洋経済社会委員会 (E S C A P)

Mr. Changchui He

E S C A P 地域リモートセンシング計画地域アドバイザー兼コーディネーター

E S C A P は、1947年、アジア・太平洋地域の経済開発を促進することを目的に国連経済社会理事会の下部機関として設立された。E S C A P の天然資源委員会の下で行われている地域リモートセンシング計画は、アジア・太平洋地域におけるリモートセンシング活動を促進することを目的としており、同氏は、この計画の地域アドバイザー兼コーディネイターを担っている。

インド

Prof. Bulusu Lakshmana Deekshatulu

国立リモートセンシング庁長官

国立リモートセンシング庁は、宇宙省の下に設置された独立した機関である。同庁は、人工衛星・データ及びリモートセンシング・データの受信、処理、配布、種々の応用分野におけるユーザのトレーニング及びリモートセンシング技術を利用した応用プログラムの実行を担当。

パキスタン

Mr. Sikandar Zaman

パキスタン宇宙空間研究委員会 (SUPARCO) 委員長

ザーマン氏が委員長を務めるパキスタン宇宙空間研究委員会は、1961年に設立され、平和目的のための宇宙科学、宇宙技術を利用する能力を獲得するために設立された。現在、パキスタン総理大臣が委員長を務める宇宙研究評議会 (S R C) が承認した長期科学技術計画に沿って宇宙開発を推進。

同委員会は、各プロジェクトの企画、年次予算を作成し S R C に提出し、承認を経てそれを実施。

(参考4)

宇宙開発委員会外国人招へい者略歴

(国名：アルファベット順)

国連E S C A P

Mr. Changchui He

物理学士取得

リモートセンシングの画像処理にかんする修士号取得

リモートセンシングの研究における博士号取得のため研究中

1984年 中国国家科学技術委員会基礎研究技術局審議官

1985年 国連宇宙空間平和利用委員会科学技術小委員会中国副代表

1988年 国連E S C A Pに参加し、以後、E S C A P／U N D P地域リモートセンシング計画のマネジャー兼コーディネイター

現在 E S C A P地域リモートセンシング計画の地域担当アドバイザー兼コーディネイター

インド

Prof. Bulusu Lakshmana Deekshatulu

1958年 Banaras Hindu大学にて学士号取得（電気系）

インド科学研究所において修士号、博士号取得

1970年 インド科学研究所教授（～1976年）

1976年 国立リモートセンシング庁技術部部長

1982年 同庁長官

パキスタン

Mr. Sikandar Zaman

1937年 生まれ

1958年 科学技術大学卒

1961年～1962年 N A S A ロケット組立て及び打上げ管制部門に従事

1964年 ミシガン大学において航空宇宙技術分野で修士号取得

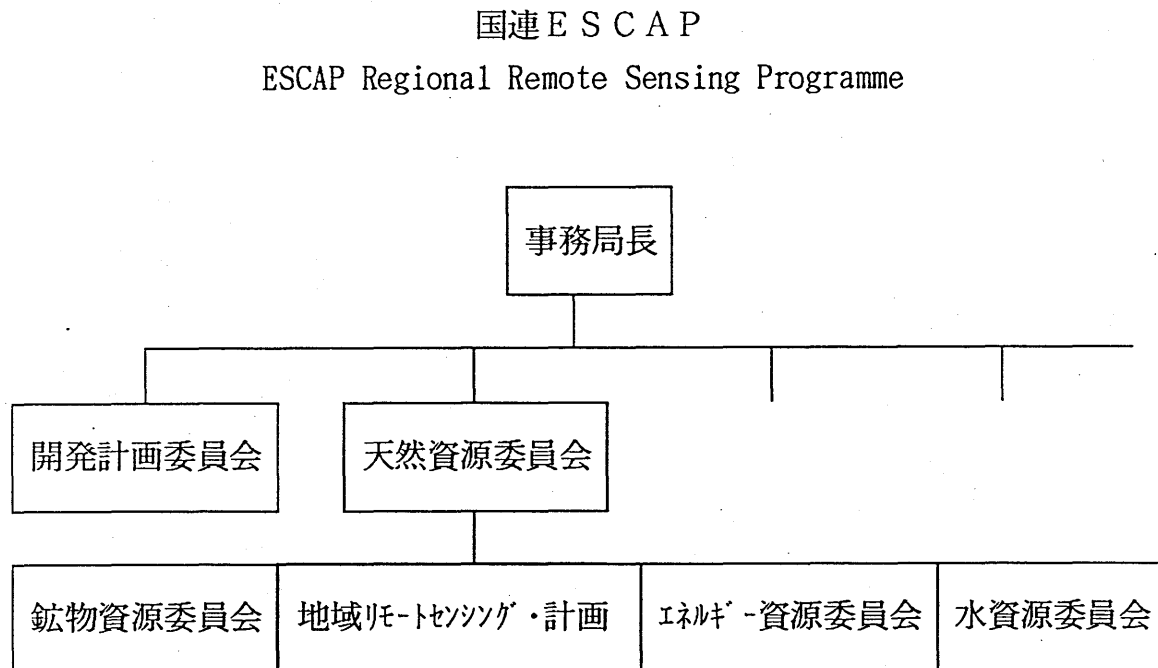
1965年 フランス、エアロスペース社にてロケット点火部門に従事

1966年 フランス、C N E S でロケット打上げ施設部門に従事

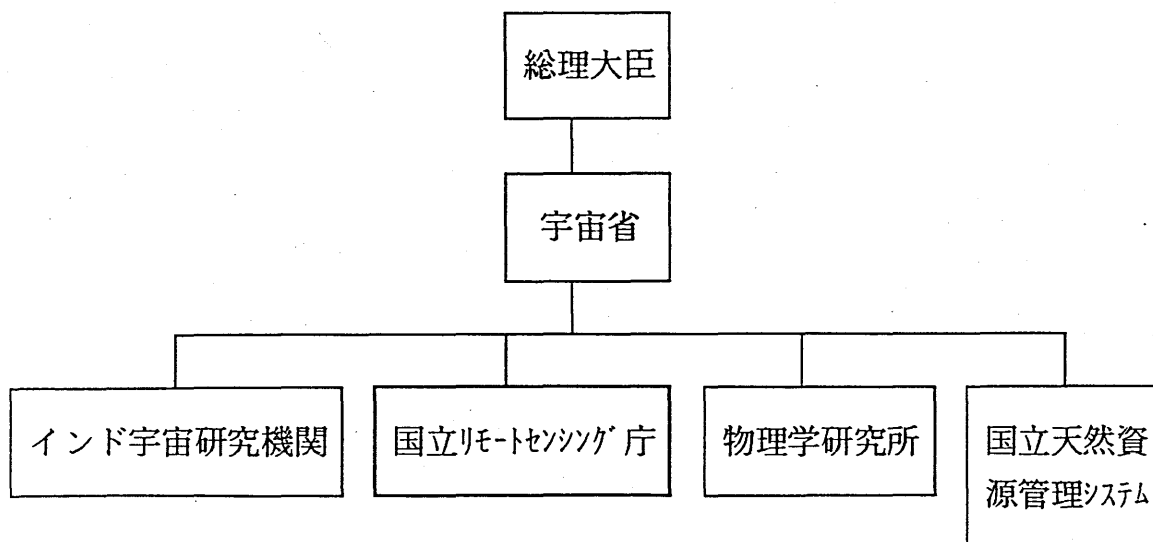
現在 パキスタン宇宙空間研究委員会（SUPARCO）委員長

(参考5)

宇宙開発委員会外国人招へい者組織図



インド
国立リモートセンシング庁



パキスタン

宇宙空間研究委員会 (SUPARCO) 委員長

